

## 第62回(2024年度)学術研究奨励金(研究助成)の対象決定

公益財団法人 三島海雲記念財団(理事長 今関 博、所在地 東京都渋谷区)は、**第62回(2024年度)学術研究奨励金(研究助成)**の対象を決定しました。**贈呈式**は三島海雲学術賞と合わせ**7月5日(金)**に東京會館(東京都千代田区)にて行います。

今年度の**奨励金交付総数は90件、総額は1億3,748万円**です。対象者と助成研究については、次頁以降をご参照ください。これにより**1962年度から2024年度までの累計助成金額は19億4,008万円、延べ2,314件**になります。

### 今回の学術助成金額

	自然科学分野 件数・額	人文科学分野 件数・額	合計 件数・額
個人研究	43件 4,300万円	34件 3,400万円	77件 7,700万円
共同研究	8件 3,880万円	5件 2,168万円	13件 6,048万円
<b>合計</b>	<b>51件 8,180万円</b>	<b>39件 5,568万円</b>	<b>90件 1億3,748万円</b>

今回助成される皆様の中から、将来の三島海雲学術賞が輩出されることを期待しています。

### 三島海雲記念財団について



財団創設者 三島海雲

当財団は、自然科学、人文科学に関する教育、研究を援助奨励し、もってその成果の普及を図り、学術、文化の向上、国民生活の充実に寄与することを目的としています。カルピス株式会社創業者の三島海雲が1962年(昭和37年)に全資産を投げ設立しました。

この目的に基づき、社会貢献の一端を担う学術支援活動をこれからも一層推進してまいります。

<本件に関するお問合せ先>

公益財団法人 三島海雲記念財団 事務局 唐木田 陽一、青山 光夫

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-6-10 ジラッフアビル

Tel:03(5422)9898

e-mail:[mishimak15@mishima-kaiun.or.jp](mailto:mishimak15@mishima-kaiun.or.jp)

URL:<https://www.mishima-kaiun.or.jp>

2024年度学術研究助成 研究課題および対象者一覧

【自然科学分野】 個人研究 43件 / 1件100万円の助成

No.	「食の科学」 との関連	研究課題	氏名	所属機関	役職
1	食の安全	食品のスマートパッケージング技術を支える革新的なMOF-空気二次電池の開発	赤井 亮太	東北大学大学院 工学研究科	博士課程
2	栄養・嗜好・ 生理機能	緑内障治療に向けた眼球線維柱帯マクロファージの食食作用を増進させる脂肪酸の探索	池上 啓介	九州大学大学院 農学研究院	准教授
3	栄養・嗜好・ 生理機能	スポーツによる相対的エネルギー不足 (REDs) における骨髄間葉系幹細胞の機能解析	池戸 葵	愛媛大学 プロテオサイエンスセンター	特定 研究員
4	食品素材	オルガネラ配置の人為的操作による高栄養価トマトの開発	石川 一也	岡山大学 学術研究院医歯薬学域	助教
5	疾病予防	膵β細胞の脱分化を指標とした新機軸の食事療法の開発	石田 恵美	群馬大学 生体調節研究所	准教授
6	疾病予防	腸内細菌叢、腫瘍免疫を介した小児期からの食生活が成人がん発症に与える影響の解明	鶴飼 智子	ハーバード公衆衛生大学院 疫学部	リサーチ フェロー
7	発酵・ 微生物利用	食品中の多様な乳酸菌種を一斉かつ正確に定量する16Sメタゲノム法の確立	大城 麦人	九州大学大学院 農学研究院	助教
8	食の安全	交差反応性食物アレルギーの発症に対する抗原感作経路と共存物質の影響解析	荻野 龍平	広島大学大学院 医系科学研究科	助教
9	疾病予防	糖尿病の予防・治療を企図した血中脂肪酸バランスと摂取栄養素の関係解明に関する検討	鬼木 健太郎	熊本大学大学院 生命科学部	准教授
10	栄養・嗜好・ 生理機能	亜鉛トランスポーターを介した亜鉛がマウス卵巣内卵胞卵の成長に与える影響	影山 敦子	麻布大学 獣医学部	共同 研究員
11	栄養・嗜好・ 生理機能	動物の脳機能制御における植物を介した新しい相互作用	金子 賢太郎	明治大学 農学部	専任講師
12	栄養・嗜好・ 生理機能	味蕾オルガノイドに血管網を構築して増殖性や機能性を向上させる試み	川村 文彦	福島県立医科大学 医学部	助教
13	疾病予防	母乳中の免疫細胞と子の疾病リスクに関する新規アレルギーコンセプトの検証	國村 和史	九州大学 生体防御医学研究所	助教
14	食の安全	マウスモデルを用いた加工肉由来ニトロ化合物が脳腸軸へ及ぼす分子病理学経路の解明	小林 美央	東京農工大学 農学部	特別 研究員
15	栄養・嗜好・ 生理機能	ビタミンCがエピゲノム修飾を介してCD8+ T細胞の免疫応答を促進する機序の解明	近藤 健太	滋賀医科大学 医学部	助教
16	疾病予防	脂質代謝酵素PLAAT1の欠損マウスが示す抗脂肪肝の分子メカニズムの解明	佐々木 すみれ	香川大学 医学部	助教
17	疾病予防	萎縮性胃炎の治療法開発に向けた幹細胞分化障害メカニズムの解析	高田 仁実	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科	助教
18	栄養・嗜好・ 生理機能	ミクログリアによる神経炎症に対する脂肪酸の効果	高野 桂	大阪公立大学大学院 獣医学研究科	准教授
19	疾病予防	サルコペニア予防に向けた、アミノ酸による筋タンパク質合成制御機構の解明	竹垣 淳也	神戸大学大学院 農学研究科	助教
20	食の安全	食品添加物がアトピー性皮膚炎や気管支喘息に及ぼす影響の解明	溜 雅人	国立成育医療研究センター研究所 免疫アレルギー・感染研究部	研究員
21	栄養・嗜好・ 生理機能	骨格筋再生力の向上に資する機能的食品成分の探索	徳武 優佳子	信州大学 学術研究院農学系	助教
22	食品素材	作出された複二倍体黒ラズベリーの果実及び葉における健康機能性に向けた品質評価	登島 早紀	弘前大学 農学生命科学部	助教
23	疾病予防	肥満の残留リスクをもたらすエピゲノムメモリー機構の解明	長沢 忠音	千葉大学 医学部	博士課程
24	疾病予防	食不振の伝播に関わる神経回路メカニズムの時間空間的な探索	長濱 健一郎	ジョンズ・ホプキンス大学 医学部	博士 研究員
25	食の安全	トマト生産を脅かすウイルス病の制圧に向けた抵抗性育種スキームの構築	西川 雅展	東京大学大学院 農学生命科学研究科	特任 研究員

(自然科学分野 個人研究の続き)

No.	「食の科学」との関連	研究課題	氏名	所属機関	役職
26	発酵・微生物利用	野生酵母ライブラリーからのプロリン高資性株の単離とその利用	西村 明	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科	助教
27	発酵・微生物利用	大豆臭気低減を目的としたヘキサナル酸化酵素の開発	林 順司	徳島大学 生物資源産業学部	講師
28	疾病予防	妊娠中のイソフラボン摂取が小児アレルギー疾患発症に与える影響の解明	久田 文	千葉大学 予防医学センター	助教
29	疾病予防	樹状細胞に免疫寛容原性を付与する腸内細菌の同定と新規食物アレルギー治療法の開発	深谷 知宏	宮崎大学 医学部	助教
30	栄養・嗜好・生理機能	食品温度が消化速度に及ぼす影響に着目した新規血糖コントロール方法の開発	藤平 杏子	東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院	特別 研究員
31	栄養・嗜好・生理機能	新規機能性卵の開発を見据えた、ニワトリ卵黄へのグルタミン酸輸送システムの解明	古川 恭平	名古屋大学大学院 生命農学研究科	助教
32	疾病予防	分泌型IgA抗体による腸内有用菌（善玉菌）と病原菌（悪玉菌）の識別機構の解明	古谷 弦太	東京大学 定量生命科学研究所	特任講師
33	疾病予防	ブロココリー由来スルフォラファンによるアトピー性皮膚炎への影響：腸内細菌叢の役割	彭 戈	順天堂大学大学院 医学研究科	特別 研究員
34	栄養・嗜好・生理機能	加齢・糖尿病における味蕾幹細胞と幹細胞ニッチの機能解析	三浦 雅臣	東京大学 医学部附属病院	助教
35	疾病予防	老化によるNAD <sup>+</sup> レベルの低下は認知機能障害を引き起こすのか？	水谷 天音	富山大学 学術研究部医学系	助教
36	疾病予防	脂肪毒性によるオートファジー停滞・細胞老化に着目した糖尿病関連腎臓病の病態解明	南 聡	大阪大学大学院 医学系研究科	特任助教
37	疾病予防	食事に含まれるアクリルアミドのリスク低減：飲酒がもたらす悪影響と除去受容体の探索	宮内 優	崇城大学 薬学部	講師
38	疾病予防	経口可能化技術を活用した酪酸の膵β細胞保護・糖尿病予防効果と機序の解明	村上 隆亮	京都大学 医学部附属病院	助教
39	食の安全	フードロス削減および園芸作物の機能性成分増強のための新たな殺菌技術の開発	望月 佑哉	茨城大学 農学部	講師
40	栄養・嗜好・生理機能	授乳期の摂食および攻撃行動を制御するニューロペプチドY回路の機能解析	山口 隆司	ニューヨーク大学 医学部	特別 研究員
41	疾病予防	納豆菌が分泌するRSウイルス不活化物質の同定と作用機序の解明	山本 聡	札幌医科大学 医学部	助教
42	疾病予防	“代謝的に健康な肥満”をもたらす食事療法プロトコルの確立とその機序解明	和田 恵梨	名古屋大学 環境医学研究所	特任助教
43	栄養・嗜好・生理機能	周産期の葉酸過剰摂取が仔の膵β細胞のエピゲノムに及ぼす影響の解明	和田 亘弘	札幌医科大学 医学部	助教

【自然科学分野】 共同研究 8件 / 1件 400~500万円の助成

No.	「食の科学」との関連	研究課題	代表研究者	所属機関	役職
1	疾病予防	食を支える歯を歯周病から守る - 迅速病原体唾液検査法の確立と新規予防法の開発	今井 健一	日本大学 歯学部	教授
2	栄養・嗜好・生理機能	超硫黄オミクス解析による硫黄含有食品の生理・薬理機能の解析	笠松 真吾	大阪公立大学大学院 理学研究科	テニュアトラック 助教
3	疾病予防	腸内細菌叢を再構成した生体外臓器モデルの創製	加地 範匡	九州大学大学院 工学研究院	教授
4	食の安全	水道水中の微量金属とコレステロールの同時摂取が肝線維化を促進する機序の解明	清水 真祐子	徳島大学大学院 医歯薬学研究部	講師
5	栄養・嗜好・生理機能	世代を超える食生活の影響-リン代謝と脳機能をつなぐ抗老化因子α-Klotho-	瀬川 博子	徳島大学 医学部	教授
6	発酵・微生物利用	フレイル予防・治癒に寄与する乳酸発酵食品の開発	土居 克実	九州大学大学院 農学研究院	教授
7	製造・加工・調理	タンパク科学と食品加工学の分野連携から解き明かす乳タンパク質の乳化特性と原理	野崎 翔平	筑波大学 生命環境系	助教
8	疾病予防	肥満・糖尿病がアルツハイマー病の神経病理学的変化を促進する機序の解明	若林 朋子	明治薬科大学 薬学部	准教授

2024年度学術研究助成 研究課題および対象者一覧

【人文科学分野】 個人研究 34件 / 1件100万円の助成

No.	対象分野	研究課題	氏名	所属機関	役職
1	史学	唐代における族内秩序の研究：妻と妾を中心として	板橋 暁子	東京大学附属図書館 アジア研究図書館	助教
2	芸術学	「あらゆる姿を持つ」ヴィシュヌ像の研究：古代中世北インドと東インドの作例を中心に	大木 舞	京都大学大学院 文学研究科	博士課程
3	地域研究	国家とマイノリティをつなぐものーマレーシア・サラワク州の先住民社会に関する研究ー	大室 元	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程
4	史学	縄文時代後晩期の土器製塩復元ー古代中国山東省地域における考古学的事例を元にー	岡本 樹	早稲田大学大学院 文学研究科	博士課程
5	文化人類学	日本社会を生きるムスリム女性の自己・他者認識に関する文化人類学的研究	AI YU	東北大学大学院 文学研究科	博士課程
6	地域研究	異民族を包摂する集団はいかに発展したかーマレーシアの現地化インド系移民に着目して	柏 美紀	京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科	博士課程
7	史学	昌徳宮李王国葬記録研究-日本国立公文書館所蔵『故大勳位李王国葬書類』を中心に-	姜 多映	東京大学大学院 人文社会系研究科	博士課程
8	史学	米領フィリピンの日本人移民コミュニティを通してみる、アジア太平洋近代史	北田 依利	法政大学 国際文化学部	兼任講師
9	史学	15世紀西アジア・中央アジアにおけるアラビア語・ペルシア語両文化圏の交流	笹原 健	京都大学大学院 文学研究科	博士課程
10	文化人類学	フィリピン・マニラ首都圏における若者気候アクティビズムの民族誌的研究	芝宮 尚樹	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程
11	文化財科学・博物館学	日本・鏝阿寺に伝世したマジャパヒト王国期ジャワの宝剣「クリス (Keris)」の研究	鈴木 一平	総合研究大学院大学 先端学術院	博士課程
12	史学	19世紀前半期中国におけるミッション・スクール設立の「難航」と西学東漸の「挫折」	SO CHIT SHING	同志社大学大学院 グローバル・スタディーズ研究科	博士課程
13	社会学	中国における「優生優育」思想の言説空間	宋 円夢	京都大学大学院 文学研究科	博士課程
14	史学	近代北海道におけるキリスト教伝道とアイヌ女子教育に関する歴史的研究	田辺 陽子	早稲田大学大学院 社会科学研究科	博士課程
15	芸術学	江戸時代の型吹き技法研究とサーキュラーエコノミー時代のガラス素材	地村 洋平	東京藝術大学 美術学部	テクニカル インストラクター
16	史学	二つのアラビア語法史料からみた9～12世紀アンダルのキリスト教徒の婚姻と家族	塚原 稜央	北海道大学大学院 文学院	博士課程
17	文化財科学・博物館学	科学技術博物館と平和のパラドックスー現代イランの事例から	寺田 悠紀	東京大学 東京カレッジ	特任助教
18	地域研究	上海における文化政策・文化産業の研究：政治的目的と経済的利益の関係性に着目して	照井 敬生	西安交通リヴァプール大学 映画テレビ芸術科	助教授
19	芸術学	中国におけるラジオ体操の形成と日本ー戦時日本の身体政策とその中での音楽の役割	藤 東君	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程
20	環境保全学	先端計算機資源を活用した日本最古の持続的木質資源利用に見る"常若"の思想の検証	中島 徹	東京大学大学院 農学生命科学研究科	助教
21	哲学	インド伝統医学における精神神経科関連疾患の包括的研究ー原典批判と実地調査ー	長田 晋一	九州大学大学院 人文科学府	博士課程
22	地域研究	デジタル時代における私設博物館収蔵資料の継承に関する研究：ヨコタ博物館の試みから	中村 真里絵	愛知淑徳大学 交流文化学部	助教
23	政治学	戦前期日本外交官と近代日本官僚制	中村 凌太郎	立命館大学大学院 文学研究科	博士課程
24	史学	司法保護に関する知の伝播と連鎖の社会史ー帝国日本の監獄官僚の植民地経験と実践ー	魯 洙彬	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程
25	政治学	南洋における華僑の送金とその民族主義 (1937年～1945年)	裴 奕	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	博士課程

(人文科学分野 個人研究の続き)

No.	対象分野	研究課題	氏名	所属機関	役職
26	経済学	CSR（企業の社会的責任）の経済・社会的影響：インドネシアのCSR法を利用した実証分析	藤崎 航太郎	ユニバーシティカレッジロンドン 経済学研究科	博士課程
27	地域研究	モンゴルの拝火祭の研究	ホビト	神奈川大学大学院 歴史民俗資料学研究科	博士課程
28	芸術学	僧巨然から瀟湘八景に至るまで一山容の地理性と聖性を集約する北宋の都開封一	前田 佳那	九州大学大学院 人文科学府	博士課程
29	芸術学	日本伝統木版画技術の保存と継承：国際発信を通じた現状と課題の考察	松葉 涼子	イーストアングリア大学 セインズベリー日本藝術研究所	講師
30	史学	西洋古代歴史学の視点から見た史学科設立後の「世界史」とグローバル教育	水島 顕介	東京大学大学院 人文社会系研究科	博士課程
31	史学	清朝後期における官僚機構と政策決定過程に関する研究	水盛 涼一	多摩大学 経営情報学部	准教授
32	文化人類学	北タイ村落の寺院建立をめぐる宗教的贈与の現代一クルーパーの慈善事業を事例に	山田 実季	京都大学大学院 人間・環境学研究科	博士課程
33	ジェンダー	「医薬品」から「化粧品」へー近代日本の「化粧品」業界とジェンダー	楊 雅韻	京都大学大学院 文学研究科	博士課程
34	史学	前1千年紀パピロニアの人名と名付けのジェンダー的側面	渡井 葉子	中央大学 人文科学研究科	客員 研究員

【人文科学分野】 共同研究 5件 / 1件 325~500万円の助成

No.	対象分野	研究課題	氏名	所属機関	役職
1	芸術学	楽と舞：雅楽実践の身体コミュニケーション	鎌田 紗弓	東京文化財研究所 無形文化遺産部	研究員
2	芸術学	チンギス・ハーン博物館所蔵資料「モンゴル宮廷衣装」に関する学際的研究	河上 繁樹	関西学院大学 文学部	教授
3	史学	帝国日本の大陸政策と「チベット・モンゴル仏教圏」：ハイヤー文書の調査を中心に	小林 亮介	九州大学大学院 比較社会文化研究院	准教授
4	史学	前近代の東=東南アジア間における多国間陶磁交易に関する歴史考古学研究	田畑 幸嗣	早稲田大学 文学学術院	教授
5	史学	中世イスラーム時代アラビア半島における港町の構造と流通研究－探査・分析科学の応用	長谷川 奏	早稲田大学 総合研究機構	客員上級研究員 (研究院客員教授)

(所属機関・役職は申請時、敬称略)